

かじか
わ
河鹿鳴く涌き水引きて苗代に
なわしろ

秋の稔りを祈る邑人
むらびと

令和六年五月十五日

大中臣正比呂



湯布院の塚原に青々とした苗代が広がると、もう直ぐ田植えだ。

由布岳、鶴見岳に降った雨は伏流ふくりゅうとなり、村々に水が湧き出る。

すでに田圃たんぼには水が張られ、準備は万端だ。清水しみずで育てた米は美味しい。